

がまこおり 議会 だより

1 月市議会臨時会・3 月市議会定例会

一般質問…ここが論点…………… 2 ～ 8

議決された主な議案…………… 8～11

令和7年度一般会計予算 494 億 5,800 万円

議会日誌、5 月臨時会・6 月定例会予定等 …12

NO. 128
2025.5



一般質問…ここが論点

詳しい質問項目と動画はこちらから



3月市議会定例会中、4人の議員が会派を代表して質問し、13人の議員が個人質問を行いました。その中から要約を掲載します。詳しい内容は市立図書館等で会議録をご覧ください。ホームページの会議録検索システムをご覧ください。いずれも6月上旬に発行・掲載予定です。

日程	議員名	主な質問の項目 ※下線付の項目は質問と答弁の要旨を掲載しています。
3月4日(火)	自由民主党蒲郡市議団・無所属の会 代表 大場 康 議	<u>予算大綱</u>
	蒲郡自由クラブ 代表 鈴木 基 夫	<u>予算大綱</u>
	蒲郡市政クラブ 代表 来本 健 作	<u>予算大綱</u>
	公明党蒲郡市議団 代表 松本 昌 成	<u>市民の健康</u> <u>こどもファースト</u> 高齢者施策 教育の充実 <u>防災・減災の取組</u> 空家活用事業 定住促進 公共施設太陽光発電設備等の取組 ボートレース蒲郡の設備再投資資金 健全な財政運営
	竹内 滋 泰	<u>蒲郡市におけるPPPとPFIの現状と今後の展望</u>
3月5日(水)	伊藤 享 佑	<u>保育士の労働環境</u> 森林環境保全による土砂災害防止策 <u>地域強靱化に向けた防災体制</u>
	藤田 裕 喜	市民病院 歯科口腔保健推進条例 <u>学校及び学校長と、教育委員会、教育委員会事務局の職務権限や役割、あり方</u> 民法第233条にもとづく対応 内部の職員等からの公益通報
	鈴木 貴 晶	<u>ごみステーションの管理とごみの活用など</u> <u>地元における若手人材確保と定着を目的とした独自の奨学金返還支援制度など</u> <u>市民総ぐるみ防災訓練</u>
	大須賀 林	<u>地下埋設管等に起因する道路陥没</u>
	日恵野 佳 代	<u>児童クラブの拡充</u> <u>国民健康保険およびマイナ保険証</u> 不登校の子どもと保護者への支援
	太田 哲 也	<u>多文化共生社会の実現に向けて</u>
3月6日(木)	千賀 充 能	<u>市が考える少子化対策</u>
	中野 香 余	<u>自然災害対応</u> 火災対応
	八田 寿 人	<u>災害時等の井戸水提供の協力募集</u>
	牧野 泰 広	<u>蒲郡市民病院</u> 前立腺がんの早期発見とPSA検査
	新実 祥 悟	移住・定住政策 <u>東三河広域連合設立10周年</u>
	尾崎 広 道	<u>市道西浦堂前5号線、同6号線と同7号線との交差点</u> <u>福祉避難所</u> 燃えるゴミの収集 常設リサイクルステーション

を拡大したい人や新
り公開していく。農地
図を公開型GISによ
目標地図、貸出意向地
目録、土地利用計画図、
ページ公開を伺う。
問 農地情報のホーム

ページの公開を伺う。
問 農地情報のホーム
ページ公開を伺う。

の比較、イメージパ
イスの検討を行う。
問 農地情報のホーム
ページ公開を伺う。

候補地について地
域資源の情報収集、主
要幹線道路の交通量、
周辺の道の駅の状況、
地域活性化等の課題整
理などを行い、コンセ
プト・基本戦略、候補

地について地
域資源の情報収集、主
要幹線道路の交通量、
周辺の道の駅の状況、
地域活性化等の課題整
理などを行い、コンセ
プト・基本戦略、候補

候補地について地
域資源の情報収集、主
要幹線道路の交通量、
周辺の道の駅の状況、
地域活性化等の課題整
理などを行い、コンセ
プト・基本戦略、候補



令和7年度予算大綱
について

問 看護専門学校大
学について伺う。

問 令和7年4月1日
付で看護専門学校大
学準備室を新設し、9
年度の開学を目指す。

問 現在の看護専門学
校は、10年度末閉校
を予定。

問 道の駅の導入可
能性調査について伺
う。

問 候補地について地
域資源の情報収集、主
要幹線道路の交通量、
周辺の道の駅の状況、
地域活性化等の課題整
理などを行い、コンセ
プト・基本戦略、候補



蒲郡市立ソフィア看護専門学校

候補地について地
域資源の情報収集、主
要幹線道路の交通量、
周辺の道の駅の状況、
地域活性化等の課題整
理などを行い、コンセ
プト・基本戦略、候補



自由クラブ
代表
鈴木基夫

令和7年度予算大綱
について

問 指定避難所の電力確保等について伺う。

答 46か所の施設を指定しており、可搬型蓄電池の配備や太陽光発電システムなどを設置し地域レジリエンスの強化を図っている。地区集会施設は、備蓄物資を配備しているが、電力の確保等は、地域の意見を聞きながら、検討していきたい。

問 レジリエンス補助金を活用した蓄電池について伺う。

答 指定避難所に電気自動車の使用済みバッテリーをアップサイクルした蓄電池を設置した。CO2の削減やレアメタルなど資源の再利用など、本市のゼロカーボンシティ及びサーキュラーシティの実現に寄与すると考える。

問 子育てにかかわる課題に対する新たな取組について伺う。

答 子育て世帯、妊産婦及び子供が気軽に相談できるように、児童館及び子育て支援センターに地域子育て相談機関を設置し、子育ての悩みや不安感などを緩和し、子供の健やかな育ちを支援していく。

問 MCI（軽度認知障害）の取組状況は。

答 今年度よりプラチナ長寿健診を実施し、MCIやその前段階の人を把握し、支援を行っている。認知機能向上への取組は本人が継続的に行うことが重要で、アプリを使った取組も検討していきたい。



市政クラブ
代表
来本健作

令和7年度予算大綱
について

問 ラリー三河湾の実績と効果について伺う。

答 令和7年2月28日から3日間の日程で開催し、81台のラリーカーのエントリーがあり、8万5800名の来場者があった。観光客数や宿泊者数の増加に加え、WEBメディアやスポーツ紙などにも掲載され、観光振興、シティセールスとして効果があつた。小中学校でのラリー教室では、子供達が本物のラリーカーを身近に感じられる良い機会となった。

問 ラリーを活用したまちづくりの取組として、モナコ公園との連携について伺う。

答 連携を深める目的で訪問した。世界ラリー選手権の視察、モナコ市長との会談、国王

が環境保全を目的に設立したアルペール2世財団の方との面談など、ラリーと環境保護など海辺の環境について情報交換をした。今後は、財団の助成を活用した環境保護の取組を検討しつつ、ラリーを通じた交流を継続し、本市のPRやラリーを活用したまちづくりへとつなげていきたい。

問 東京ガールズコレクションへの取組は。

答 7年度は、マイナビTGC in 大阪・関西万博2025及びIGアリーナでのTGCの他に地元開催のTGC連携イベントを予定しており、繊維の技術や魅力を発信していく。



ラリー三河湾



公明党市議団
代表
松本昌成

市民の健康について

問 带状疱疹予防接種の現状と定期接種化の対応について伺う。

答 令和6年度の接種者数は、7年1月末時点でビケンが54人、シングリックスが923人。国の定期接種化に伴い、ビケンは三千元、シングリックスは1回につき七千円の自己負担で定期接種を実施する予定。50歳以上の人の任意接種の助成は、引き続き行っていく。

問 ヤングケアラー支援事業について伺う。

答 6年6月12日に子ども・若者育成支援推進法が改正され、支援について明記された。ヤングケアラーは、家族の介護、ひとり親、

防災・減災の取組
について

問 感震ブレイカー設置補助と防災士資格取得支援について伺う。

答 新たに7年度から感震ブレイカーの設置の一部に補助をする。防災士資格取得支援事業は、防災士認定制度を活用し、地域防災力向上を目的として、資格取得費用の一部を補助をしていく。





竹内滋泰
市政クラブ

PPPとPFIの 現状と今後の展望

問 竹島水族館のコンセッション方式について、グラントオープン後の入館者数の前年比を伺う。

答 令和6年度の4月から12月までの入館者数は36万156名、5年度の4月から12月までの入館者数は、24万5883名であり、前年度比は、約1.5倍となった。

問 東港地区まちづくりビジョンを踏まえた、将来の展望について伺う。

答 現在の竹島水族館の運営を行いつつ、多くの市民や観光客の声を聴きながら、検討していく。

問 公共施設の太陽光パネル設置について、小中学校等への設置によるCO2や光熱費の

削減効果を伺う。

答 本年2月末で完了した中学校6校と蒲郡文化広場については、導入設備を法定耐用年数まで使用した場合、累計約2800トンの

CO2削減量を見込み、電気使用料は、年間約1400万円の削減効果を見込む。7年度に完了予定の小学校10校については、現時点での見込みになるが、法定耐用年数まで使用した場合、累計約4700トンのCO2削減量を見込み、電気使用料は、年間約1840万円の削減効果を見込んでいる。CO2や光熱費の削減に十分効果があるものと考えている。



竹島水族館



伊藤享佑
市政クラブ

保育士の労働環境 について

問 3歳から5歳児の保育士配置基準改正について市の対応を伺う。

答 令和7年度の4、5歳児は、新基準の25対1での保育士配置を考えている。

問 副園長と担任の業務をなくすためにも、保育士確保に向け抜本的な人材確保施策を市で行うべきではないか。

答 副園長兼務の解消は優先して取り組む事項の1つと認識している。7年度新規採用予定の正規保育士は6年度の4人から28人となり、7年度の兼務はすべて解消予定である。

地域強靱化に向けた 防災体制について

問 事前防災における市の考えや取組を伺う。
答 市では住宅の耐震

診断、ブロック塀の撤去補助事業などを実施している。7年度は新たな取組として、地震予知について研究機関と合同で実証実験に取り組む予定である。

問 海上物資輸送に関する協定の締結実現について、考えを伺う。

答 海上自衛隊との災害協定については市単独でなく、県単位など大きな枠組みで取り組むべきと考える。

問 海の駅の協力体制について現状を伺う。

答 民間の小型船舶とは、災害時の協力体制を結ぶ必要があると考える。現時点で体制の検討は進んでいないが情報収集に努めたい。



藤田裕喜
自民党市議団
・無所属の会

学校及び学校長と、 教育委員会のあり方

問 学校における上履きの指定が、子どもたちの足の健康を損なっている可能性があるにも関わらず、学校の判断に任せているのはなぜか。教育委員会が主導して自由化すべきではないか。

答 購入の際に悩まなくてもよい点を理由に各学校で指定している状況がある。今後、不都合や自由化を求める声が高まることがあれば、学校長が判断していくと考える。

問 ランドセルの使用について、学校によって対応が異なっていることが、保護者の間で不公平感を生んでいると思うが、この状況をどう考えているか。教育委員会が主導して自由化すべきではないか。

答 今後も、ランリユックやリュックサックを希望する家庭に対しては、各学校が柔軟に対応していく。不都合や自由化を求める声が高まることがあれば、学校長が判断していくと考える。

問 学校や教育委員会が保護者の意見を聞く機会はどのくらいあるのか。

答 12月に実施される学校運営評価アンケートの他、PTA総会やPTA役員会、学年や学級の懇談会でも意見を聞いている。教頭に相談してもらえれば、校長と共有され、校長会等で教育委員会にも意見が届く。





鈴木貴晶
自由クラブ

**ごみステーションの
管理とごみの活用など**

問 メルカリShop
sへの今後の出品に關
して、デザインマンホ
ールを出品することに
ついて、市の考えを伺
う。

答 リユースを推進す
るためには、出品物の
選定は大変重要な要素
であり、ニーズの把握
や魅力ある出品物の提
供が大切になると考え
る。デザインマンホー
ルについては、出品で
きるか検討していく。

**若手人材確保と定着が目的の
独自の奨学金返還支援制度**

問 明日の蒲郡を担う
若者へ投資する意味で、
独自の奨学金制度を設
けることについて伺う。
答 研究や調査を進め
る中で、蒲郡で育って
よかったと思えるよう
な支援制度を示す努力

をする必要があると感
じている。

**市民総ぐるみ防災
訓練について**

問 体験型の訓練とし
て、自衛隊による野外
炊具体験を導入するこ
とについて、市の考え
を伺う。

答 実際に調理をする
ことについては、食品
衛生法上の制限等もあ
ると考えるが、自衛隊
が防災訓練に参加する
ことについては、市民
の防災意識の向上や日
頃からの備えの啓発に
も期待できるため、7
年度以降の防災訓練に
おいて積極的に参加を
依頼していきたいと考
える。



野外炊具1号



大須賀 林
自民党市議団
・無所属の会

**地下埋設管等に起因
する道路陥没について**

問 埼玉県八潮市の陥
没事故を受け、本市で
下水道管の緊急点検は
行ったのか。

答 2月10日から15日
の間で目視及びカメラ
調査を行い、簡易な対
応によって必要な措置
を5年未満まで延長で
きる緊急度が中程度の
箇所が1スパンあった。
問 本市で、過去に地
下埋設物の破損に起因
する道路陥没があつた
のか伺う。

答 平成29年10月に竹
島水族館から郵便局に
通じるマリノロード、
松原町地内で、コンク
リート管の破損による
道路陥没が発生した。
これ以降に大規模な道
路陥没は発生していな
い。令和6年度は、側
溝等の排水構造物の不
良による道路陥没を43

件対応しているが、汚
水管及び水道管が原因
とみられる道路陥没は
確認していない。

問 耐用年数を過ぎた
管渠は今後どのように
管理していくのか伺う。

答 下水道のコンクリ
ート管の標準耐用年数
は50年であり、現段階
では供用開始から耐用
年数を過ぎてはいない。
現在はカメラによる管
内調査を実施しており、
早急な対応が必要な箇
所は、管の補修または
取替えをしている。7
年度にはストックマネ
ジメント修繕・改築計
画を策定し、9年度か
ら計画に基づき、下水
道管の改築に着手予定
である。



日恵野佳代
無党派
・日本共産党

**児童クラブの拡充に
ついて**

問 竹島小学校の児童
クラブで、36人が待機
児童となっている。早
急な対応が必要では
ないか。

答 竹島小の図書室を
使うことで調整を進め
ている。

問 竹島小以外の待機
児童は55人となってい
る。対策を伺う。

答 利用率を考慮し入
所可能人数を再計算す
ると、大部分の待機を
解消できると見込んで
いる。東部小学区は公
民館での児童クラブ開
設で調整を進めている。

**国民健康保険および
マイナ保険証**

問 国保税は他の健康
保険より負担が重い。
一般会計から子どもの
均等割額と同額を支給
してはどうか。

答 国保に関すること

は特別会計内で収める
ことが基本と考える。

問 マイナ保険証は、
電子証明書の5年更新
が高齢者や障害者には
負担である。要配慮者
申請をすれば資格確認
書が更新時に郵送され
るといふ案内が必要で
はないか。

答 マイナンバーカー
ドを持たない、または
マイナ保険証の利用登
録をしてない人には、
資格確認書を申請によ
らず交付する。

電子証明書の更新手
続は、来庁が難しい人
には申出により回答書
を郵送し、代理人が回
答書を持参することで
手続が可能となってい
る。





太田 哲也
公明党市議員

多文化共生社会の実現に向けて

問 増加している外国人児童生徒に対する支援体制の現状と課題についてを伺う。

答 令和6年度小学校で7校、中学校で4校、日本語教育適応学級担当教員を配置し、日本語指導が必要な外国人児童生徒に対して、指導を行っている。課題は、語学補助員の不足が挙げられる。

問 外国人児童生徒の保護者とのコミュニケーションの現状を伺う。

答 必要な言語の翻訳文書や、やさしい日本語、翻訳ツールを活用している。必要な場面には、語学補助員を派遣して対応している。また、6年度導入した学校と家庭の連絡アプリ「コドモン」により、欠席連絡フォームやメ



ール、添付文書の題名を英語とポルトガル語に変換する機能があり、多くの外国人児童生徒の保護者から大変好評と伺っている。

問 外国籍の方が救急外来の受診や入院などをされた際に、安心して治療が受けられる体制について伺う。

答 健康推進課では、あいち医療通訳システムにより、医療の専門用語を含む文書を外国語に翻訳し対応している。また、市民病院では、スマートフォンでの翻訳アプリや医師賠償責任保険の付帯サービスである電話医療通訳サービス等を活用して対応している。



千賀 充能
自民党市議員
・無所属の会

市が考える少子化対策について

問 少子化の原因について市が考える要因は何か。また今後の対策を伺う。

答 原因として、経済的問題や共働き世帯の職場環境等が挙げられる。出会いの機会の創出や、切れ目ない子育て環境づくりの支援、女性の活躍の促進等に取り組んでいく。

問 住みたいまちの開発や、就労の場づくりについて市はどのような考えを持っているのか。

答 現在実施中の土地区画整理事業では、公共施設の整備と宅地利用の増進を一体的に進め、良好な住環境を整備している。企業用地の立地可能性については地区別カルテを作成した。立地を検討中の各企業に対し、側面的



企業誘致パンフレット

支援を実施したい。県の企業庁とも情報交換を行いながら、今後も協議を継続していく。

問 部活動の地域移行の、今後の方策を伺う。

答 現在、スポーツ協会加盟団体や公民館のクラブ・サークル、スポーツ少年団本部加盟団体など、中学生を既に受け入れている既存団体もある。部活動の在り方検討委員会などの議論を踏まえ、令和8年に向け市としてスポーツができる環境を地域ぐるみで整備することが重要である。受皿がない種目は、市がスポーツ教室を実施する等参加できる仕組みも検討したい。



中野 香余
自民党市議員
・無所属の会

自然災害対応について

問 自然災害時の避難指示等、市民への情報伝達の方法を伺う。

答 同報系防災行政無線の屋外子局、防災ラジオ、市ホームページ、安心ひろめる、公式LINE、X及びYouTube防災速報等の様々な手段を用いて情報伝達を行っている。

同報系防災行政無線については現在、60MHzのアナログ式から280MHzのデジタル式に移行しているところである。

デジタル防災ラジオについては、アナログ電波が届きにくかった地域やマンション等の建物の中でも明瞭に受信できる。

また、安心ひろめるの配信と同時に、公式LINE及びヤフ



ー防災速報への連携が行えるため、災害時のワンストップ配信が可能となっている。

問 それらの情報伝達の方法を、平常時に市民に対してどのように周知しているのか。

答 学校や地域での出前講座、防災や福祉系のイベント等において、各種ハザードマップ、安心ひろめるの登録及び防災ラジオ販売について説明及びチラシ等を配布し、周知を図っている。令和4年度には各種避難情報の発令基準や判断基準を記載した蒲郡市避難情報の判断・伝達マニュアルを作成し、全ての世帯に配布している。



八田寿人
自民党市議団
・無所属の会

問 災害時等の井戸水提供の協力募集について伺う。

答 初期消火、近隣者への飲料水以外の生活用水の提供等、公益を目的として市民が所有する井戸水を提供してもらうため、蒲郡市災害時生活用水協力井戸指定要綱を定め、市民からの登録を募っている。

問 実際の災害時の運用について伺う。

答 所有者及び自主防災会の方と、地域の皆様で協力して、活用していただくことを想定している。

問 湯水時の協力井戸の制度の概要について伺う。

答 蒲郡市協力井戸指定要綱を定めており、湯水時又は非常変災時



における手洗い、洗濯などの生活用水確保のため、井戸使用者の協力を得て協力井戸を指定し、湯水に強いまちづくり対策及び非常変災時に資することを目的としている。

問 災害時協力井戸の登録のオンライン申請への対応について伺う。

答 フォームによるオンライン申請を導入し、手入力による部分を減らしていくことは、業務の軽減のみならず、正確なりすと管理に寄与することだと考える。電子メールによる申請は継続しつつ、フォームによるオンライン申請の導入に向けて進めていきたいと考える。



蒲郡市民病院
について

問 新たな診療科目の設置にむけて、総合診療科の現在の状況を伺う。

答 現在、厚生労働省において総合診療科とすべし、令和7年度には、検診状況を踏まえながら、内科を主とした総合診療科の開設ができるよう準備をしていきたい。

問 救急科の現状について伺う。

答 救急科は24時間365日稼働する激務の診療科であり、全国的に医師数は少なく、すぐに常勤医師を派遣することは難しい状況と聞いている。6年1月から医師等への指導的役割も兼ねて、週に1回、救急科の医師に赴



蒲郡市民病院

任してもらっている。引き続き救急科医師の確保に努め、救急科の開設に向けて努力していきたい。

問 今後、診療科に特色を持たせていく考えはあるのか伺う。

答 現在計画している内視鏡センターに加え、呼吸器の分野においては高度な診療が可能であり強みだと考えている。今後、呼吸器内科や呼吸器外科医師の確保・強化が可能であれば、例えば、呼吸器内科と呼吸器外科を合わせたセンター化であったり、7年度に増員される整形外科分野の関節外来などを検討していきたい。



東三河広域連合設立
10周年について

問 設立から10年経ち、その評価を伺う。

答 「東三河はひとつ」を合言葉に地域の力を結集し、新たな魅力と活力の創造に努め、誰もが真の豊かさを実感できる地域の実現を目指し、様々な取組を進めてきた。

「広域連携事業」は、地域振興に資する情報発信や地方創生事業について展開できている。「共同処理事務」では、介護保険事業など、地域の行政運営や住民サービスの適正性を維持する上で効果的であった。「権限移譲事務」では、一般旅券の発給申請等に関する事務等、利便性の向上につながったと評価している。

問 広域連合を発展的に解消して、豊川用水



受益者の湖西市と衆議院選挙愛知14区の幸田町を含め、東三河広域連合の拡大版として合併すべきではないか。

答 蒲郡市として合併すべきであるという考えは持っていない。各市町村は、それぞれの特性を生かした施策の成果を積み上げ、地域全体として発展してきたものと認識している。出生数の減少など、東三河全体の将来見通しは厳しいと言わざるを得ない。だからこそ、広域連合として一体となつて、持続可能な東三河の地域づくりに資する施策を広域的かつ計画的に展開していければと考えている。



尾崎広道
自由クラブ

市が考える交差点の
安全性について

問 消防署西部出張所が建設された後は写真のとおり停止線で停車した車からの見通しが全く効かなくなつた。地元総代等がカーブミラーの設置を求めても、設置しない理由は何か。

答 現地の状況から、道路交通法を遵守することで安全性が守られるため緊急性が低いと判断しているが、交通ルールやマナーの遵守を広く呼び掛けたい。

福祉避難所について

問 大規模震災等の発生時、東日本から来る介護職員の応援受け入れ体制は確立されたか。
答 特定された要配慮者やその家族のみが避難する福祉避難所は、職員が参集できずに福



消防署西部出張所付近の交差点

祉施設の運営自体が困難な場合には、市から開設要請をしない。昨年の能登半島地震では国等の派遣事業として介護職員が派遣されたと伺っている。

問 災害発生後は職員が24時間働き詰めになる可能性が高い。職員給与は市が払うのか。

答 福祉避難所の運営費用は協定書により市が支払うが、労務管理は施設管理者が行う。

問 福祉避難所や市内診療所には、飲料水、体や傷口を拭く水等は十分確保されているか。
答 貯水設備は福祉施設23施設中16施設、診療所47施設中11施設にある。

令和7年度一般会計予算などを議決

1月市議会臨時会は、1月30日に1日の会期で開き議案1件を審議しました。
3月市議会定例会は、2月26日から3月21日までの24日間の会期で開き、議案41件、意見書案2件を審議しました。令和7年度一般会計予算など、その主な内容をお知らせします。

1月臨時会
3月定例会
議案

1月臨時会

臨時会は、必要のあるとき、特定の事件に限り、これを審議するために招集される議会です。

1月臨時会は、長引く物価高に対応するため、経済的に困窮している世帯への支援策として、給付金を支給するための事業費を予算計上する必要があるため招集されました。

併せて、本市の子育て世帯を一層支援するため、2月分と3月分の給食費を無償化するための事業費予算について審議しました。この補正予算議案は全会

一致で可決されました。

3月定例会

予算審査
特別委員会から

2月26日の本会議で、正副議長を除く18人の委員で構成する予算審査特別委員会（委員長 来本健作、副委員長 伊藤享佑）が設置されました。委員会では、3月13日、14日、17日、18日の4日間にわたり、令和7年度一般会計予算など11会計予算を慎重に審査し、全会計の予算を可決すべきものと決しました。

3月定例会の日程

- 《2月》
- 26日 本会議〔会期の決定、諸般の報告、予算大綱説明、議案説明、質疑、討論、採決など〕
予算審査特別委員会
議会運営委員会理事会
- 《3月》
- 4日 本会議〔一般質問〕
議会運営委員会理事会
議会運営委員会
- 5日 本会議〔一般質問〕
- 6日 本会議〔一般質問、議案説明〕
- 10日 総務委員会
議会運営委員会理事会
議会運営委員会
- 11日 経済委員会
- 12日 文教委員会
- 13日 予算審査特別委員会
- 14日 予算審査特別委員会
- 17日 予算審査特別委員会
- 18日 予算審査特別委員会
- 21日 本会議〔委員長報告、議案説明、質疑、討論、採決など〕

●民生費
高齢者孤独解消ロボット購入費補助金

問 事業の内容を伺う。

答 1人暮らし高齢者を対象にコミュニケーションロボットで購入費の2分の1、上限3万円の補助を行う。

古屋市立大学と相談を始めています。7年1月からは設立団体である名古屋市にも依頼をしていたものである。事業費の内訳は。

問 効果について伺う。

答 会話をすることは孤独解消のみならず認知症予防にもつながると考える。しかし、コミュニケーションが苦手な人もいるため、ロボットが一助となることを期待する。見守り機能等を持つものもあり、離れた場所でも暮らす家族の心配事を軽減する効果も期待できる。

●商工費
道の駅導入可能性調査委託料

問 本委託料の目的は。

答 道の駅は、道路利用者の休息施設だけでなく、産業振興についても集客力や影響は大きく、道の駅の設置は有効な手段であると考えられる。しかし、魅力ある道の駅にするには、多角的に、コンセプトやねらいを明確にし、優先順位や投資効果を図り、事業の採算性等を検討する必要がある。これらを踏まえ、導入ありきでなく、今後の様々な可能性を検討する費用である。

●衛生費
(仮)地域看護学専攻設置推進事業費

問 本事業の概要は。

答 名古屋市立大学による、蒲郡市立ソフィア看護専門学校施設の活用した、地域看護学専攻(仮称)の設置及び運営準備を進めていくものである。

●消防費
感震ブレイカー設置事業費補助金

問 事業の経緯は。

答 令和6年2月から、名古屋

補助額の上限を1万円と定めた理由は。種類や製品によって価格は様々だが、既存家屋に設置する代表的な機器は約2万円と思われる。他市等の状況も参考にし、購入費の2分の1に相当する上限1万円で補えるのではと考える。

問 感震ブレイカーを設置することの効果は。

答 感震ブレイカーは、地震発生時に一定以上の揺れを感じるとブレイカーを落として電気を遮断する。機器の設置により、電気が復旧した際の通電による火災を防ぐことができる。

●教育費
アジア・アジアパラ競技大会関連事業費

問 事業費の内訳は。

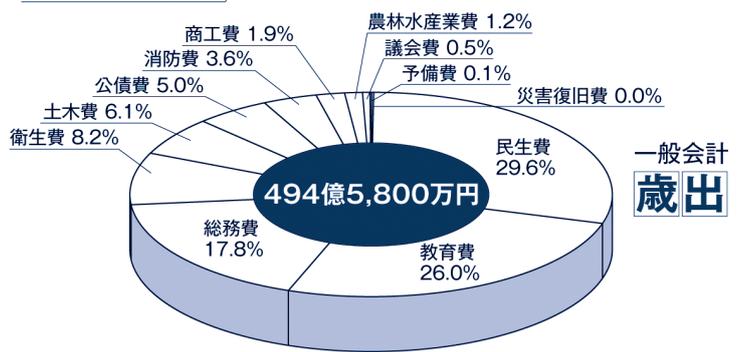
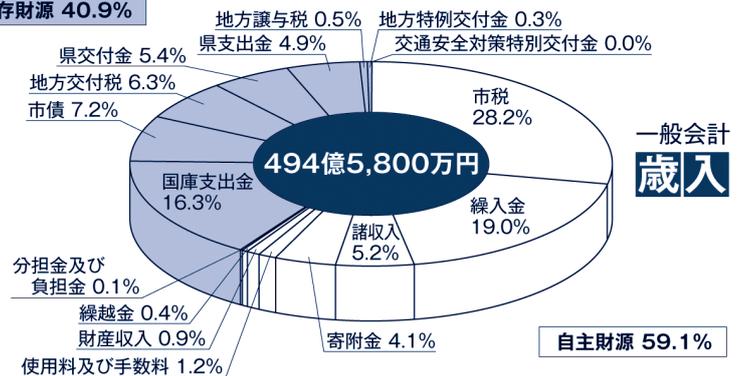
答 大きく分けて3つの事業を実施する。1つ目に、アジアの国の文化を学びながら、大会を知ってもらう市民向けの講演会に200万円。2つ目に、市内中学校の学校給食で、アジアの国の食文化を学ぶため、アジアの特徴ある料理の提

■令和7年度予算

(単位:万円)

会計別	予算額	前年度比
一般会計	494億5,800	16.1%増
特別会計	国民健康保険事業	77億2,830 2.8%減
	後期高齢者医療事業	28億3,310 9.7%増
	土地区画整理事業	8億8,730 0.3%増
	公共用地対策事業	1億7,150 49.1%減
	三谷町財産区	3,910 32.1%増
	西浦町財産区	1,470 0.7%増
	小計	116億7,400 1.1%減
企業会計	水道事業	収益的 21億1,950 8.6%増 資本的 29億790 16.1%増
	下水道事業	収益的 28億3,750 10.7%増 資本的 44億2,610 23.4%増
	病院事業	収益的 113億230 4.0%増 資本的 18億8,400 15.8%増
	モーターボート競走事業	収益的 1,809億4,900 9.9%増 資本的 38億2,160 29.8%増
	小計	2,102億4,790 10.2%増
	合計	2,713億7,990 10.7%増

依存財源 40.9%



供に200万円。3つ目に、懸垂幕や動画等のPR素材の作成や、市内の各イベントにブース出展し、周知を行うために250万円となっている。

○水道事業会計

年度末給水栓数は、3万5327栓、1日平均給水量2万4521mを予定しており、収益的収支は1億580万円の赤字予算です。

○下水道事業会計

処理区域面積は1389ha、処理区域内人口は6万152人、年間有収水量は642万5449mを予定しており、収益的収支は1億1850万円の赤字予算です。

○病院事業会計

1日平均入院患者数を316人、外来は700人と見込み、収益的収支は6億5240万円の赤字予算です。

○モーターボート競走事業会計

年間200日の開催を予定し、収益的収支は88億3670万円の黒字予算です。この会計から一般会計に10億円、土地区画整理事業

特別会計に7億1千万円、下水道事業会計に12億1800万円、病院事業会計に20億4千万円を支出します。

その他の議案

●副市長の選任について

(第19号議案)

副市長大原義文氏が令和7年3月31日に退職すること

とに伴い、贅年宏氏を副市長に選任することに同意しました。なお、任期は4年です。

調査・報告

●国道23号蒲郡バイパス建設特別委員会の調査終了及び廃止について

平成13年蒲郡市議会5月臨時会で当委員会は設置さ

■1月臨時会で議決された令和6年度補正予算

会計名 (補正号数)	補正の主な内容	補正額	補正後の 予算額
一般会計 (第8号)	ふるさと蒲郡応援寄附金事業費 1億4,900万円	6億9,744 万円	495億5,056 万円
	基金積立金 ふるさと蒲郡応援基金積立金 3億円		
	物価高騰対応重点支援事業費 低所得世帯支援給付金給付事業費 2億4,037万4千円 低所得世帯(家計急変分)支援給付 金給付事業費 90万円		
	物価高騰対応重点支援事業費 私立保育園等給食費無償化補助金 426万8千円		
	物価高騰対応重点支援事業費 私立幼稚園給食費無償化補助金 256万8千円		
	物価高騰対応重点支援事業費 市外学校等学校給食費支援事業費 33万円		

■3月定例会で議決された令和6年度補正予算

会計名 (補正号数)	補正の主な内容	補正額	補正後の 予算額
一般会計 (第9号)	公共交通体系整備事業費 特定区画バス運行補助金 1,484万2千円	1億5,266 万円	497億322 万円
	障害者自立支援事業費 障害福祉サービス費 4,400万円		
	一般管理費 防災改修等支援事業費補助金 770万円		
	物価高騰対応重点支援事業費 私立保育園等給食費軽減対策支援金 185万6千円		
	子育て世代包括支援事業費 健康管理システム改修委託料 165万円		
	ため池改修等事業費 大久古池老朽対策事業費負担金 340万4千円 下池耐震対策事業費負担金 80万円 羽栗池耐震対策事業費負担金 495万円		
	施設改造事業費 LED照明導入工事費 7,345万8千円		

れ、市街地の交通緩和と、観光及び産業経済活動の活性化に大きく期待される国道23号蒲郡バイパスの諸問題の調査研究を行い、早期建設を図るため開催されました。

この度、国土交通省中部地方整備局名四国道事務所より、豊川為当インターチェンジ・蒲郡インターチェ

ンジ間の工事が完了し、令和7年3月8日に全線開通と発表され、当委員会としても、当初の目的が果たされたとして、調査終了を報告します。



■ 賛否が分かれた議案・意見書案

○：賛成 ●：反対

意見書案番号	議案・意見書案名	自由民主党蒲郡市議団 ・無所属の会							蒲郡自由 クラブ			蒲郡市政 クラブ			公明党 蒲郡市議団		無会派							
		大場 康議	千賀 充能	芦刈 純奈	中野 香余	藤田 裕喜	鈴木 将浩	青山 義明	大須賀 林	八田 寿人	牧野 泰広	鈴木 基夫	鈴木 貴晶	尾崎 広道	来本 健作	新実 祥悟	伊藤 享佑	竹内 滋泰	太田 哲也	松本 昌成	日恵野 佳代			
8	個人番号の利用に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●		
15	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
16	国民健康保険税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
21	東三河広域連合規約の変更	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
22	令和7年度一般会計予算	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
23	令和7年度国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
24	令和7年度後期高齢者医療事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
32	令和7年度モーターボート競走事業会計予算	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
議員提出1	市議会議員の定数を定める条例及び市議会委員会条例の一部改正	●	●	●	●	●	●	議長	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
議員提出2	市議会政治倫理条例の制定	●	●	●	●	●	●	議長	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
議員提出5	市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議員提出6	市長の専決事項の指定についての一部改正	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
意見書案1	国の負担による全国一律の学校給食費無償化を求める意見書	●	●	●	●	●	●	議長	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書案2	保育士配置基準のさらなる改善及び保育士処遇の抜本的拡充、保育士人材確保のための国による財政措置を求める意見書	●	●	●	●	●	●	議長	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※青山義明議員は議長職により採決には参加していません。

■ 全会一致で可決・同意した議案（○内の数字は議案番号）

- ② 子育て部分休暇の新設に伴う関係条例の整備に関する条例の制定
- ③ 職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び蒲郡市職員の育児休業等に関する条例の一部改正
- ④ 職員の給与に関する条例等の一部改正
- ⑤ 職員の退職手当に関する条例の一部改正
- ⑥ 職員退職手当基金条例の制定
- ⑦ 職員定数条例の一部改正
- ⑧ 消防団条例の一部改正
- ⑩ 消防団員退職報償金支給条例の一部改正
- ⑪ 道路占用料条例の一部改正
- ⑫ 公共用物の管理に関する条例等の一部改正
- ⑬ 東三河都市計画柏原工業用地地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正
- ⑭ 水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準を定める条例の一部を改正する条例の一部改正
- ⑰ 少人数学級編制の実施に係る市費負担教員の任用、給与等に関する条例の一部改正
- ⑱ 副市長の選任
- ⑲ 副市長の選任
- ⑳ 固定資産評価審査委員会委員の選任
- ㉕ 令和7年度土地地区画整理事業特別会計予算
- ㉖ 令和7年度公共用地対策事業特別会計予算
- ㉗ 令和7年度三谷町財産区特別会計予算
- ㉘ 令和7年度西浦町財産区特別会計予算
- ㉙ 令和7年度水道事業会計予算
- ㉚ 令和7年度下水道事業会計予算
- ㉛ 令和7年度病院事業会計予算
- ㉜ 令和6年度一般会計補正予算（第9号）
- ㉝ 消防団員等公務災害補償条例の一部改正
- ㉞ 財産の無償貸付の追認
- ㉟ 財産の無償貸付
- 議員提出③ 市議会会議規則の一部改正
- 議員提出④ 市議会委員会条例の一部改正

議会日誌

12月17日から3月21日

1月

- 6日～7日 経済委員会行政視察
- 21日 議会運営委員会理事会
- 23日 1月臨時会招集告示
- 27日 議会運営委員会
- 28日 議会運営委員会理事会
- 国道23号蒲郡バイパス建設特別委員会
- 30日 1月臨時会

2月

- 4日 ハラスメント研修
- 14日 議会運営委員会理事会
- 18日 3月定例会招集告示
- 議案説明会、当初予算説明会
- 21日 議会運営委員会、議会運営委員会理事会
- 26日～3月21日 3月定例会

3月

- 10日 名鉄西尾・蒲郡線存続協議会
- 21日 議会だより編集委員会
- 議会運営委員会理事会

5月市議会臨時会は、5月9日(金)に、6月市議会定例会は6月11日(水)に開会する予定です。詳しい日程は、議会事務局へお問い合わせください。

なお、本会議の日程と一般質問の内容は、決まり次第、市議会のホームページに掲載します。

本会議の傍聴を希望される方は会議当日、市役所新館7階の議会事務局で手続きをしてください。

5月臨時会・
6月定例会予定



東三河広域連合議会

2月5日、6日に東三河広域連合議会2月定例会が豊橋市議会議事堂で行われました。今定例会では、令和7年度一般会計予算や条例案等計7議案を可決しました。

また、6人の議員が一般質問を行いました。

議会だよりは点字版、
CD版も発行しています

点字版は、点訳グループ「あい」の皆さん、CD版は、音訳グループ「声」の皆さんのご協力で発行されています。

また、議会だよりは蒲郡駅(観光交流センターナビテラス)、市民病院、市立図書館にも置いてあります。



こちら編集委員会
66-1169

大相撲元横綱「玉の海関」、大リーグ選手「千賀滉大さん」、元宝塚歌劇団月組トップスター「珠城りょうさん」、小説家「平野啓一郎さん」、などなど「蒲郡市出身の超有名な人々」と同等、それ以上に有名であっても良いと思う3名を紹介します。

一人目は、蒲郡東高校を卒業され、日本初のJRA(日本中央競馬会)女性騎手になられた「細江純子さん」です。現在も毎週フジテレビ系で競馬の評論や解説、レポーターとして出演され多くの場所で「愛知県蒲郡市出身」と言っています！個人的には「蒲郡市観光大使」になっていたきたい人と思っています。

二人目は、形原小中学校を卒業、九州の大学を経てデンソーに入社されバーコードに代わるシステム開発に携われ、ピルの窓などからQRコードを発案、製品化されたチームの中心メンバーとして活躍された方。形原漁協中心役員だったご両親と「蒲郡初のノーベル賞候補者」と期待していましたが、開発途中で病魔に襲われ急逝されました。現在も命日には開発メンバーが形原の実家を弔問に訪れてくださっていると聞きます。

三人(?)目は、山梨県山中湖や東京お台場で活躍中の水陸両用バス「KABA BUS」も蒲郡市形原町出身で形原漁港ブルーブリッジ横にある形原造船(株)生まれ(製)です。同社はアルミ合金を溶接するという専門の業界では信じられない、そんな「カバナ！」という声が聞こえて来そうなくらい難しい技術を持つ小さいけれど世界的に有名な造船会社です。

この三者は蒲郡市民には余り知られていませんが、日本中で、世界的に非常に貴重、且つガリバーな方々だと思います。

学生の皆さん、このような先輩を誇りにされ、多くの分野で後に続いてくださることを願います。また他にも「地元の誇りの企業、個人など」を調べて発表してみませんか！

議会だよりをスマホへ配信します！

下のコードを読み込むか「マチイロ」で検索

無料です！



今月の紙 RALLY 三河湾 2025

全日本ラリー選手権第1戦「RALLY 三河湾 2025」が令和7年2月28日から3月2日まで開催されました。ラリーカーを間近で見られ、またキッチンカーや企業ブースも出展し、3日間の来場者数は85,800名となり、市内外から多くの方が訪れました。